

日本語

# MANUAL

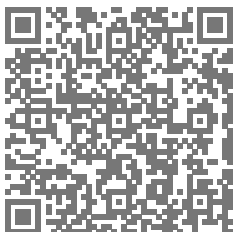
CREALITY



## CR-Studio 2

ソフトウェアのダウンロード	01
ソフトウェアの起動	02
キャリブレーションファイルの更新	03
テーブルスキャンモード	04
ハンドスキャンモード	11
高度な使用方法	13
モデルの編集	16
ショートカットキー	18

Download latest **CR Studio** from  
<https://www.crealitycloud.com/>



# 01

# ソフトウェアのダウンロード

<https://www.crealitycloud.com/software-firmware/software?type=11>

Home > Software & Firmware > Software

## Software

- Creality Print (FDM Slicer)
- HALOT BOX (Resin Slicer)
- Creality Slicer (FDM Slicer)
- CR Studio (Scan)**

### CR Studio (Scan)

CR Studio is a self-developed scanner software for CR-Scan 01 by Shenzhen Creality 3D Technology Co., Ltd. This software comes with powerful model processing capabilities. It has two modes: turntable and handheld, and can export [Expand](#) ▾

**Required OS**

- Windows 10 64bit, 8GB RAM above and 2G graphics card memory above.
- Above Mac OS Big Sur.

System: All  [Search](#)

### Version History

#### Windows

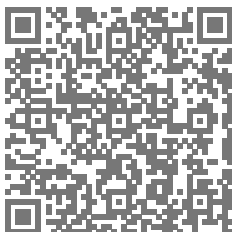
• V2.2.0			
• <a href="#">CR_Studio_v2.2.0.0030.exe</a>	2022-06-15		<a href="#">Description</a>
• V1.8.0			
• <a href="#">CR_Studio_1.8.0.046.exe</a>	2022-06-15		<a href="#">Description</a>
• V2022.5.19.0020 (Lizard)			
• <a href="#">CR_StudioSetuo_2022.5.19.0020.exe</a>	2022-06-15		<a href="#">Description</a>
• V1.7.5.086			
• <a href="#">CR_Studio-V1.7.5.086.exe</a>	2022-01-19		<a href="#">Description</a>

[Fold](#) ▾

#### Mac

• V2.2.0			
• <a href="#">CR_Studio_v2.2.0.2.0007.dmg</a>	2022-06-30		<a href="#">Description</a>
• V1.8.0			
• <a href="#">CRStudio_1.8.0.046.dmg</a>	2022-06-15		<a href="#">Description</a>
• V2022.5.19.0020 (Lizard)			
• <a href="#">CRStudio_2022.5.19.0020.dmg</a>	2022-06-15		<a href="#">Description</a>
• V2021.12			
• <a href="#">CR_Studio-V2021.12.dmg</a>	2022-01-19		<a href="#">Description</a>

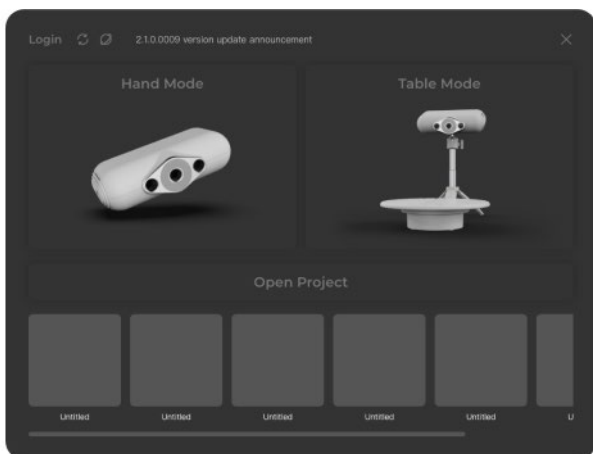
[Fold](#) ▾



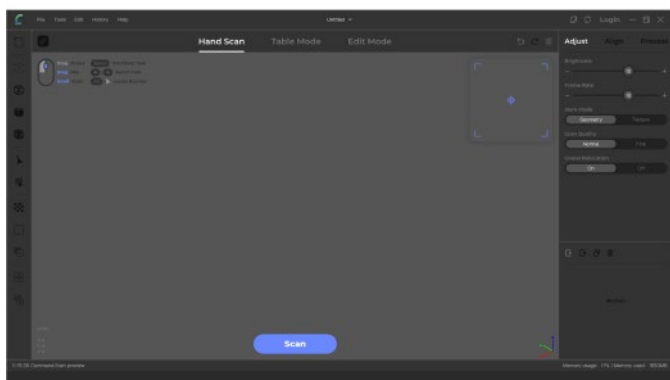
# 02

## ソフトウェアの起動

### 起動インターフェース



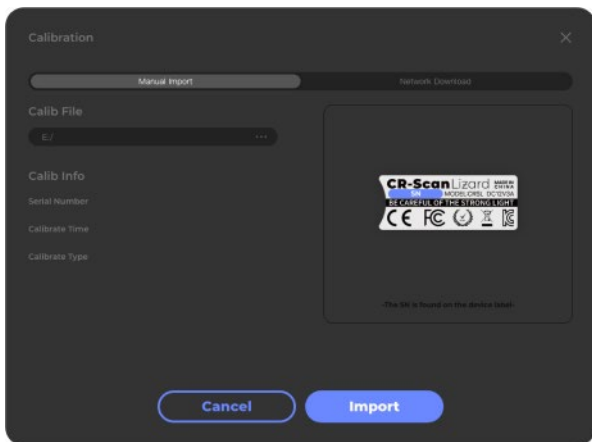
### メインインターフェース



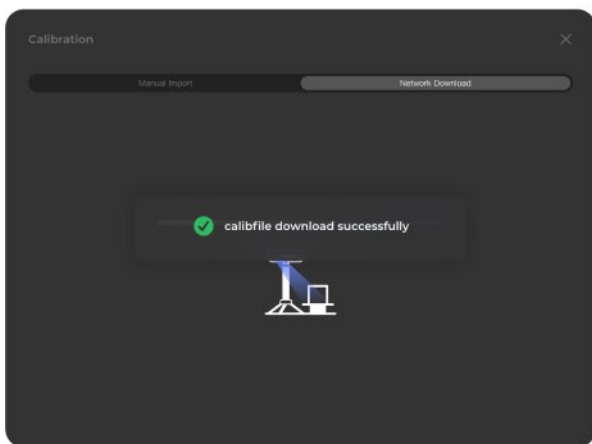
# 03

## キャリブレーション ファイルの更新

メニューの「ファイル」>「キャリブレーションのファイルを  
インポート」をクリックします。



「ネットワークでダウンロード」を選択し、「インポート」を  
クリックします。

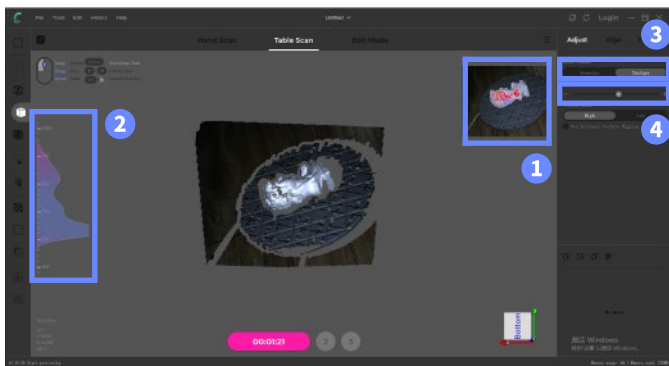


# 04

# テーブルスキャン モード

## ステップ1

Preview



- 1 スキャンの距離と角度を調整し、対象物を画面の中心に置きます。

CR-Scan 01—対象物との距離は600～800mm

CR-Scan Lizard—対象物との距離は300～400mm

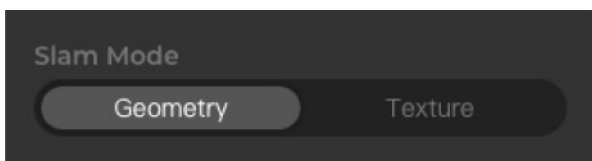
注意：三脚の高さは最大にしてください。

- 2 目盛りのついた波形は対象物との距離が適切かどうかを示します。波が高い部分で距離が近すぎるか遠すぎるかを確認できます。



# 05

## 3 スラムモードを選択します。

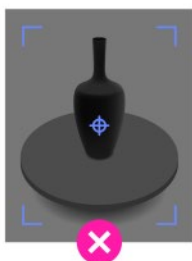
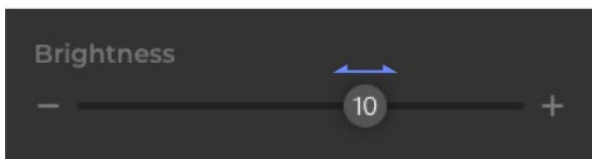


豊かな幾何学的構造の  
対象物に適しています。



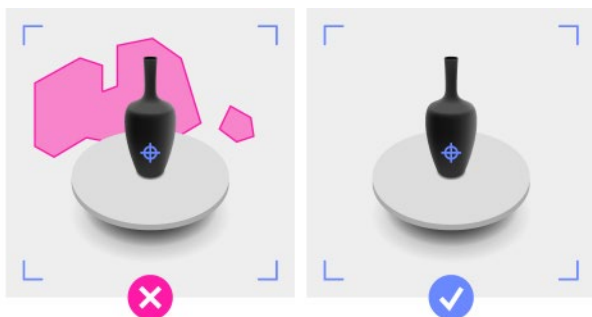
豊かなテクスチャ構造の  
対象物に適しています。

## 4 「明るさ」で適切な明るさに調整します。



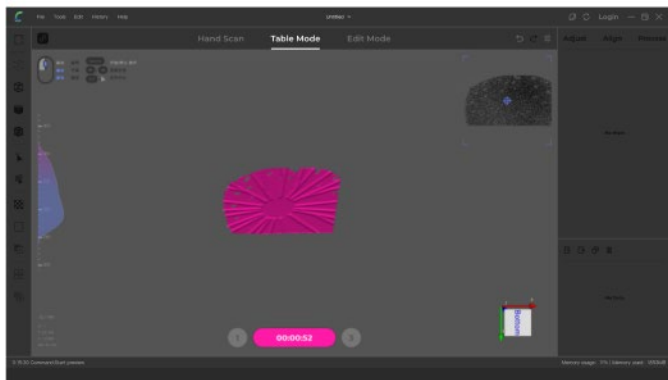
# 06

4 テーブルの周辺に物を置かないでください。



## ステップ2

Initial



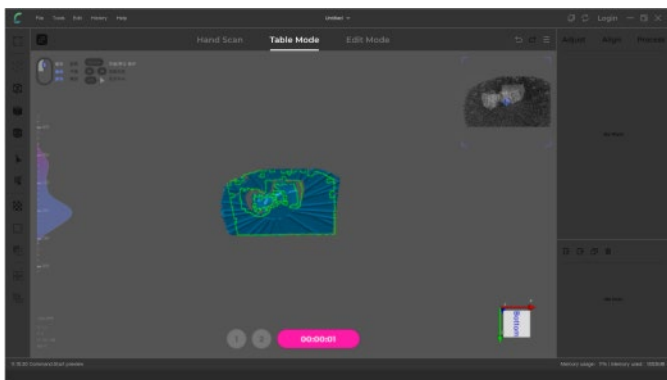
何も置いていないテーブルをスキャンすると、自動でテーブルの平面位置を決定します。

テーブルが赤くなったら、初期化完了です（通常1～2秒で完了します）。

# 07

## ステップ3

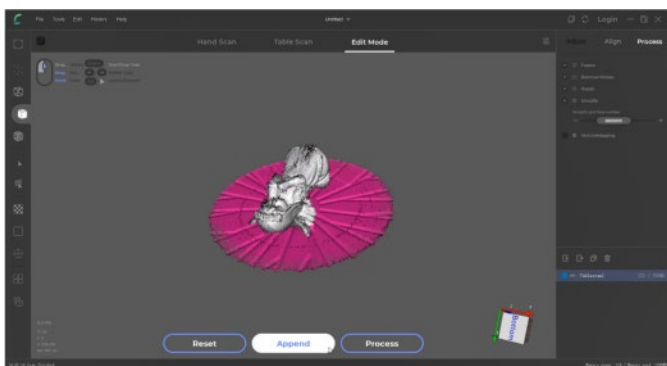
Scan



対象物をテーブルの中心に置き、「スキャン」ボタンをクリックすると全自動スキャンを開始します。スキャンが完了すると、テーブルが赤くなります。

## ステップ4

Append



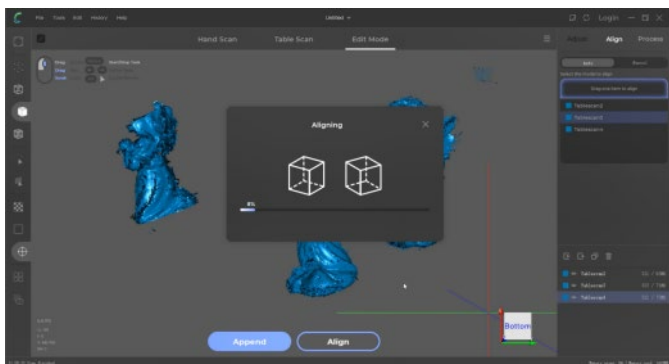


# 08

モデルをより完全にするために、複数のポーズを追加できます。対象物の向きを変えてテーブルの中心に置き、「追加」ボタンをクリックしてから「スキャン」ボタンをクリックすると、自動で次のポーズをスキャンします。

## ステップ5

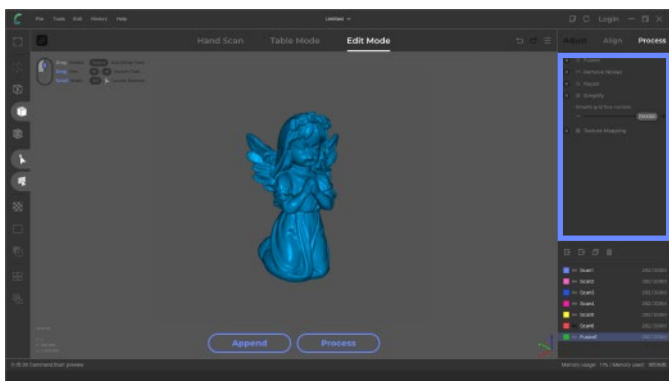
Align



複数のポーズをスキャンした後、アライメントを行います。スキャンしたデータを読み出し、「アライメント」ボタンをクリックすると自動処理を開始します。自動アライメントが完了したら、結果を確認してください。処理に失敗していたら、「マニュアル」ボタンをクリックして手動でアライメントを行ってください。

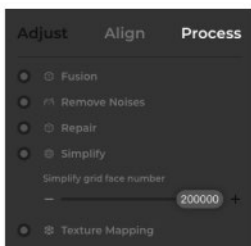
## ステップ6

Process

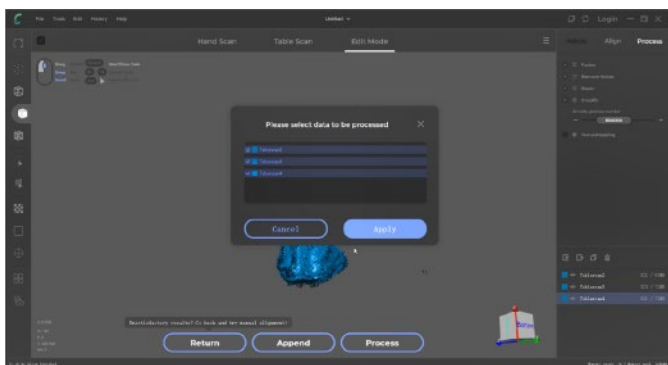


アライメントが完了したら、「処理」ボタンをクリックして全自動のデータ処理を行います。データ処理は条件を設定できます。

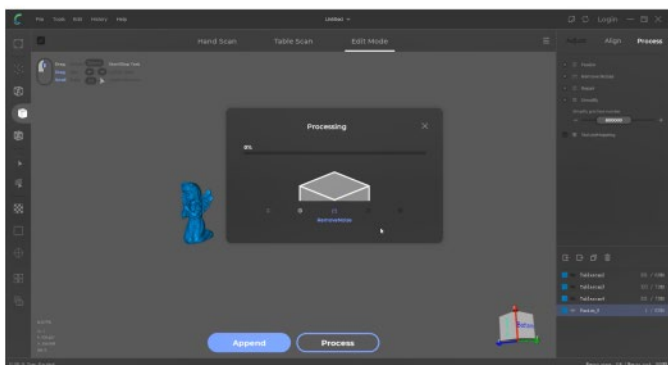
- 1 統合:** 点群データで三角メッシュモデルを構築します。
- 2 ノイズを除去:** データ周辺のノイズを自動で除去します。
- 3 修復:** スキャンできていない穴を自動で埋めます（オープンモデルはこの項目を選択しないでください。例：人の顔など）。
- 4 単純化:** グリッドを単純化し、モデルのグリッド面の数を最適化します（グリッド数が少なすぎるとモデルの細部が失われます。適切なグリッドの面の数は、1000mm前後の対象物で200万面、300mm前後の対象物で80万面です）。
- 5 テクスチャマッピング:** スキャナーのカメラが撮影したテクスチャをモデルに反映させます。



# 10



「適用」ボタンをクリックし、全自動処理を開始します。



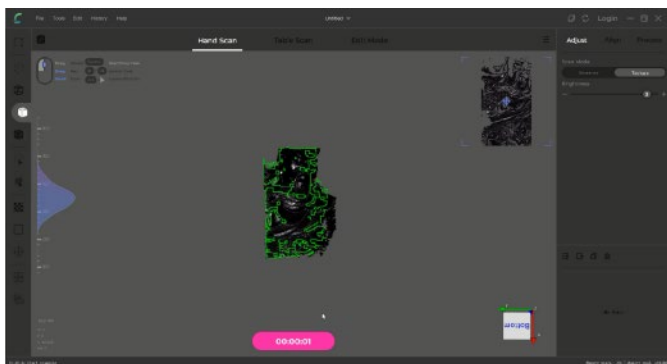
最後にメニューの「ファイル」>「エクスポート」をクリックし、OBJ形式またはSTL形式でデータをエクスポートします。

# 11

## ハンドスキャンモード

### ステップ1

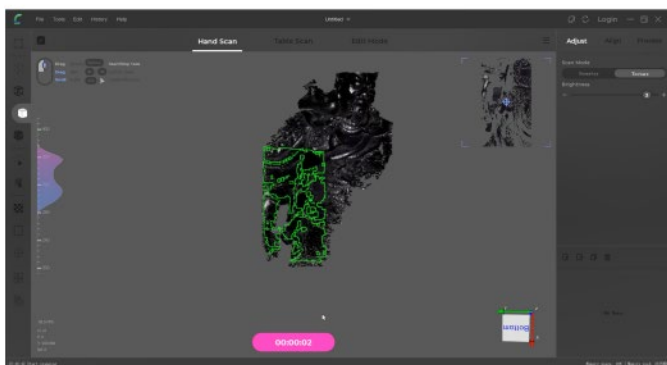
Preview



「プレビュー」ボタンをクリックすると、10秒のカウントダウンを開始します。この時間にカメラの明るさを調整し、スキャンを開始する位置の適切な距離と角度を選択できます。

### ステップ2

Scan



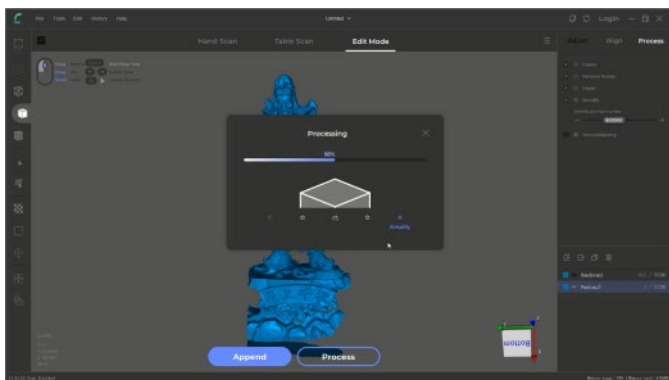
# 12

スキャン中は、できるだけ最大の範囲で移動させてください。スキャナーを見失ったら、前にスキャンした位置をスキャンして全体の再位置決めをすることで、途切れた点をつなげることができます。

スキャン中は、テーブルスキャンモードと同様、ポーズを追加してモデルの完成度を高めることができます。

## ステップ3

Process



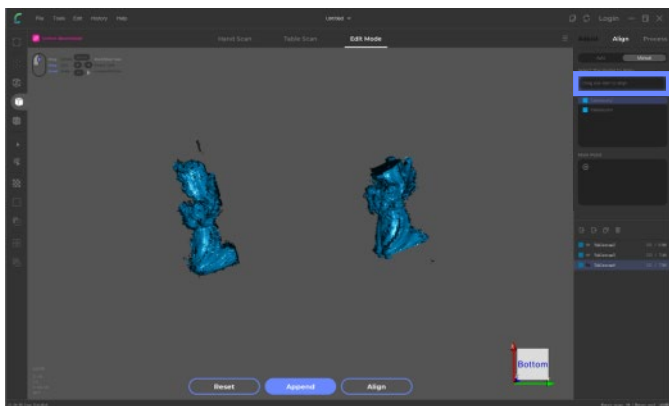
「処理」ボタンをクリックし、データの名前を入力して「適用」ボタンをクリックしてスキャンを完了すると、全自動のデータ処理を開始します。

最後にメニューの「ファイル」>「エクスポート」をクリックし、OBJ形式またはSTL形式でデータをエクスポートします。

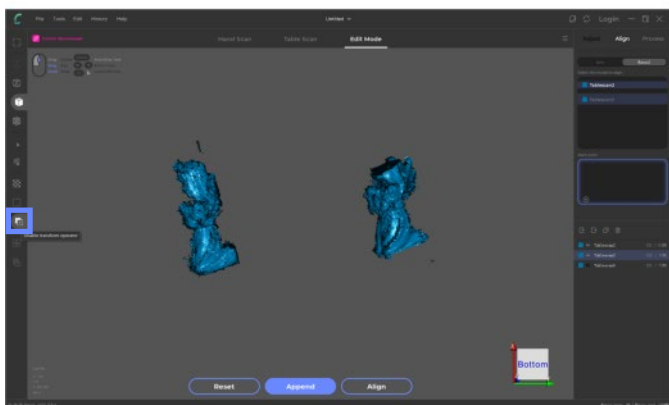
# 13

## 高度な使用方法

### 手動でアライメント

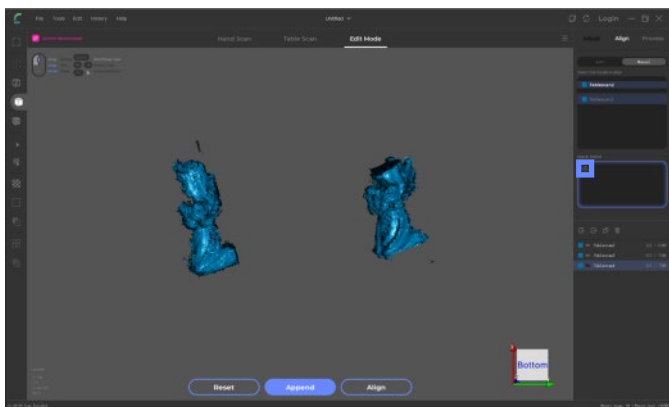


アライメントを行うモデルを図の示す部分にドラッグすると、「Tablescan3」データが「Tablescan2」データにアライメントされます。



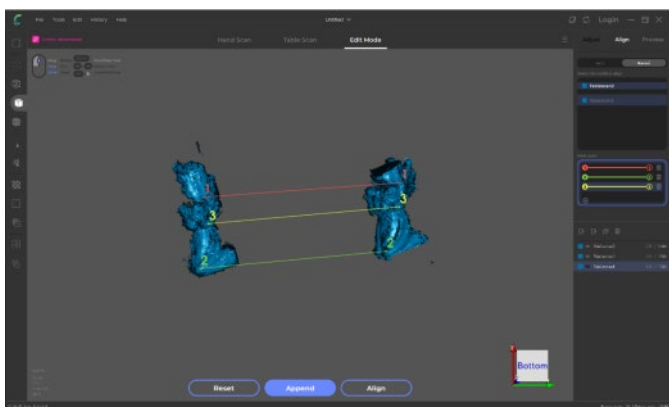
# 14

「モデル分離」ボタンをクリックし、Altキーとマウスの中央ボタンを押したまま、2つのモデルをドラッグして分離させ、Altキーとマウスの左ボタンでモデルを同じような角度に回転させます。



アライメントのマークをつけます。  
まず、プラスボタンをクリックします。

# 15



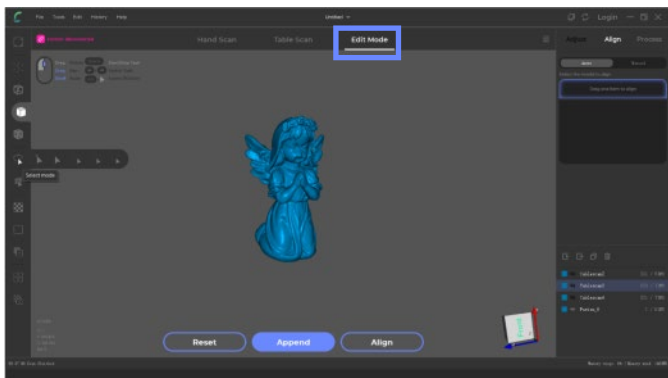
1番のペアを選択します。図のように、マウスの右ボタンで2つのモデルのそれぞれの同じ位置をクリックしてつなげてください。同様に3つの位置をクリックしてつなげ、「適用」ボタンをクリックすると、手動アライメントの完了です。




# 16

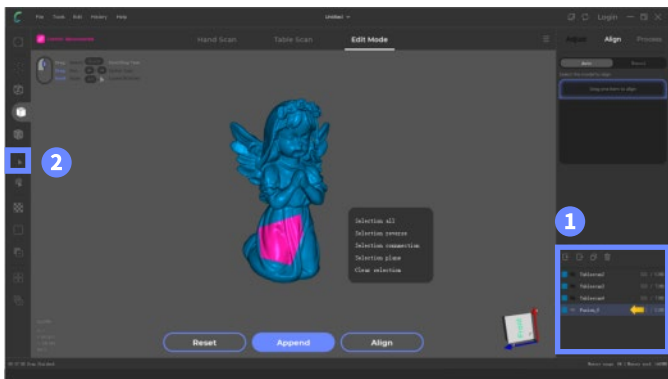
# モデルの編集

## ステップ1 編集モードを開く



図の示す部分をクリックして、編集モードを開きます。

**Alt** +  **クリック** モデルの回転中心を定める



**1** データリストの中から編集するデータを選択します。

# 17


2 範囲を選択します。



範囲選択ツール

**Ctrl** +  **ドラック** 自由な形で選択

**Del** 選んでいる範囲を削除

 **クリック** メニューを示す

## マウスの右クリックメニュー

全選択

選択部分を反転

連結部分を選択

ベースを選択

選択を解除

# 18

## ショートカットキー



- ドラック** モデルの回転
- ドラック** モデルの移動
- 回す** ズームイン/ズームアウト

**Space**

作業の開始/停止



作業の切り替え

**Alt**

+ **クリック**

モデルの回転中心を定める

### アライメント モード

**Alt**

+ **ドラック**

モデルの移動

**Alt**

+ **ドラック**

モデルの回転

**クリック**

マークペアを作成

### 編集モード

**Ctrl**

+ **ドラック**

選択部分を増やす

**Ctrl**

+ **Alt**

+ **ドラック**

選択部分を減らす

